

# 岡山大学新聞

発行所  
岡山大学新聞会  
岡山市津島中岡  
山大学学生会内  
電 52-1111 (内)791  
振替 岡山5282  
編集兼 土屋 勝  
発行人 一部 50円

## 紙面紹介

日本原農民、奥鉄男さん語る (二面)  
学内ニュース、岡山リーグ岡大優勝す (三二面)  
映評、エーゲ海に榛ぐ (四面)

# 学友会運動の高揚を

## 七九年度予算総務委員決まる

### 総務委員長は橋本君 (社研)

四月二〇日、学館ホールにおいて学友会幹事会が開かれ、七八年度決算と七九年度予算案の承認、学友会新総務委員の選出が行われた。

まず、七八年度決算で、エスベラント部より勧誘が出された。既に締め切られ七九年度予算の準備に組み込まれた七八年度分の予算を承認した。しかし、予算締め切りの指示がされたにもかかわらず取りに来なかったこと、その七万余の費用を誰が負担したのかよくわからない、という会計上のずさんさが各サークルの幹事より批判され、圧倒的多数の反対で否決された。

この動議で幾分もめた感じはあったが、七八年度決算、七九年度予算案は、ともにすんなりと承認された。

が議題となった。七七年より北BOOX再建の要求があったが、このほど野球場周

辺に新BOOXが建設された。その部屋割について、体育系サークルの間で利害の対立がみられ、その調整のためにしばしば議論がなされた。しかし、一向に進展を見ず、時間の都合もある、ということでも、その問題は閉会后に体育系サークルの当事者間で交渉することに

その後、新総務委員九名が信任投票により選出された。そして議事は直ちに新総務委員に引き継がれた。新総務委員長、橋本信彦君が「新総務委員はほとんど二年生で、状況はかかなり

厳しいと思いますので、各サークル幹事の皆さんのご協力を」とアピールした。そこで、学友会運動を担ってゆくのは重荷であろう。各総務委員は今後の学友会の発展のために、その責任性に基づいて活動してゆくことが望まれる。

- ▽書記 黒田伊久男(少林寺)
- ▽会計 大野嘉彦(古武道)
- ▽BOOX 片山創太(アノフト)
- ▽学館 川上茂喜(映研)
- ▽渉内 三美誠(空手)
- ▽文化 松枝宏明(軽音)
- ▽副委員長 鈴木泉(新聞会)

79年度サークル関係予算

サークル名	金額	サークル名	金額
アイススケート	130,200	アイススケート	130,200
アーチェリー	87,000	アーチェリー	87,000
空手道	166,500	空手道	166,500
柔道	105,600	柔道	105,600
剣道	57,800	剣道	57,800
硬式野球	129,500	硬式野球	129,500
ソフトボール	80,000	ソフトボール	80,000
バレーボール	229,500	バレーボール	229,500
バスケットボール	90,600	バスケットボール	90,600
卓球	101,000	卓球	101,000
テニス	178,900	テニス	178,900
バドミントン	180,200	バドミントン	180,200
ダンス	198,500	ダンス	198,500
演劇	98,500	演劇	98,500
音楽	169,000	音楽	169,000
美術	122,000	美術	122,000
書道	54,000	書道	54,000
英語	51,000	英語	51,000
外国語	90,500	外国語	90,500
保健体育	171,400	保健体育	171,400
生活文化	95,100	生活文化	95,100
学生自治	98,800	学生自治	98,800
学生運動	123,500	学生運動	123,500
学生福祉	318,300	学生福祉	318,300
学生交流	92,600	学生交流	92,600
学生情報	124,200	学生情報	124,200
学生図書	102,000	学生図書	102,000
学生放送	187,700	学生放送	187,700
学生新聞	86,400	学生新聞	86,400
学生雑誌	48,200	学生雑誌	48,200
学生映画	190,900	学生映画	190,900
学生音楽	126,100	学生音楽	126,100
学生美術	81,900	学生美術	81,900
学生書道	156,000	学生書道	156,000
学生演劇	32,500	学生演劇	32,500
計	1,998,200	計	4,616,900

## 5・2 学生部長団交

五月二日1時半より北津寮生と学生部長との団交がもたれた。今回の交渉は長瀬学生部長が学生部長に就任して初めての学生部長交渉であり、これまでの寮生との主張に対してどのような対応を取るか注目されてきた。

長瀬金造学生部長は農学部長時代に農業スミチオンの空中散布を学生、教職員

の反対を無視して強行し、それだけでなく77年島村演習部長との確約を一方的に反古にした張本人であり、学生部の追求に対し度々逃げるに返っており、今後の寮生との交渉に大きな影響を及ぼすと見られている。

今回の交渉においても、学生部長は人数制限等、「話し合いの三原則」なるものを一方的に持ち出し、交渉を「単なる雑談」として終らせ、交渉をなし崩し的に葬り去ろうとした。これに対して北津寮生は「寮生が多数の学生の共同生活の場であり、寮自治というものが「委員会」任、式のものでなく各人の主体的参加行動によって創られる自治であるからには、対当局交渉が誰でも参加して発言できるのは当然である。また、団交は全権を持つ両当事者が何かを決定していく場であり、そこへ参加することになる」として60名余の結集をもって断固、交渉を押し進めていった。

寮生は今後の学生部の対応を問いただしていき、この意味において寮運営の

## 小坂学長再選さる



小坂淳夫学長

六月十三日までの四年間の一期目に引き続き、今後二年間、八年六月十二日まで第七代学長を勤める(規定により三選はできない)選挙はまず第一次投票が二十七日午前九時から十一時まで行われ、無記名投票による推選で、上位十位までの学長候補を次の通り選出した。

- 杉富士雄 法文学部教授
- 田中正善 薬学部教授
- 高橋克明 工学部教授
- 高原滋夫 名誉教授
- 吐山尚美 教養部教授
- 福田義之 法文学部教授
- 福田隆典 学部教授
- 福田隆典 学部教授
- 逸見吉之 助理学部長
- そして第二次投票が午後二時半から三時半まで行われ、小坂学長が一位で再選された。

教授が再選されたが、各候補の得票数が明らかに過ぎない現行の学長選制度に對し、岡大教職組等が問題点を指摘し、選挙の民主化公開を要求している。さて小坂学長であるが、この四年間の「実績」を見れば、七五年六月十七日の寮への機動隊導入、秋の西門前信号機設置、七六年からの農業空中散布強行法文グラウンドの庭園化による集会、スポーツ等の禁止

七八年一月の一方的な学内交通規制実施、そして4・20通達一権力に完全に屈して学生運動弾圧を表明した5・1学長告示等、着実に学生管理を強化して来た、と言えらるであろう。

また医学部小坂内科は、スモン病に關して、キノホルム説に對して未だ出刃製薬と共にウイリス説を主張している事で全国的に知られている。

今後小坂学長が、来年春季の青桐寮移管、近く予想される法文学部分離とII部廃止、新寮、新サークルBOOX建設等の重大な課題にどう対応されるか注目して行

職員に守られて退出しようとする学生部長 (左から2人目)

基本的確認事項三点の確保を求めた。ところが学生部長はその内容も知らず、一方的に「確認などない」とくり返すのみであった。第一点に關しては同意したが二点三點に關しては「ノ」コメントと繰り返すのみであった。そして「食堂をつけない」等の新寮に關する4条件についてはその正当性を全くあきらかにせず、「文部省がいつのだからいいのだ」とし、寮生の激しい追求に對して自己矛盾をきたしたのである。

「基本的確認事項三点」一、学寮は福利厚生施設である。二、学寮の実質的運営は寮運営委員会がこれを行使する。三、償還はこれを保障し、現時の償還をもつて学寮運営を免すが、あくまで償還は大学と寮生との話し合いのもと寮の理想化に向けて柔軟的に位置づけられるものである。

はるか彼方に教授の声を聞きながら、原稿書きに疲れた手を休めて窓の外を眺めれば、まばゆいばかりの新緑の中に赤茶色に枯れた松の姿が痛々しい。大気汚染によって引き起こされる枯木のせいである。これに對して大学は「枯木はマツクイ虫のせい」と根本原因をほっぽらかしてドロナワ的に、環境破壊をモノともせず、ヘリコプターから農薬をぶち散らした。毎年今頃になると「今年の農業空中散布止闘争をどうしよう」と頭を悩ましたものである。昨年限りで半田山への空散は終了したそうであるが、岡山で、そして全国で大気汚染は進み、松は枯れ続けて